(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-115183
(P2012-115183A)
(43)公開日　平成24年6月21日(2012.6.21)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A01M 1/14	(2006.01)	A01M 1/14	Z	2B121

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 7 頁）

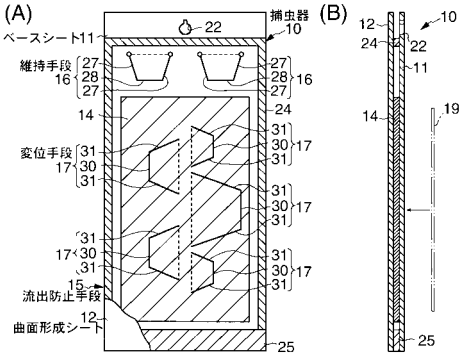
(21)出願番号　特願2010-266389 (P2010-266389)
(22)出願日　平成22年11月30日 (2010.11.30)

(71)出願人　000102980
リンテック株式会社
東京都板橋区本町２３番２３号
(74)代理人　100101188
弁理士　山口　義雄
(72)発明者　滝澤　嘉信
東京都板橋区本町２３番２３号　リンテック株式会社内

Ｆターム(参考)　2B121 AA12 BA03 BA42 BA43 BA52 EA01 FA02

(54)【発明の名称】捕虫具

(57)【要約】
【課題】保管時や搬送時の他、使用時や使用後の取扱性を向上させることができる捕虫具を提供すること。
【解決手段】捕虫具１０は、接着剤層１４を介して接着可能なベースシート１１及び曲面形成シート１２を備えて構成されている。曲面形成シート１２は、ベースシート１１と一端側同士が連設された状態でベースシート１１から剥離したときに、曲面形状に形成可能に設けられる。接着剤層１４は、曲面形成シート１２をベースシート１１から剥離したときに、ベースシート１１及び曲面形成シート１２の各相対面にそれぞれ形成される。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ベースシートと、このベースシートの一方の面に設けられた接着剤層と、この接着剤層を介して前記ベースシートと接着可能に設けられるとともに、前記ベースシートと一端側同士が連設された状態で当該ベースシートから剥離したときに曲面形状に形成可能な曲面形成シートとを備えた捕虫具であって、
前記曲面形成シートをベースシートから剥離したときに、それらの相対面にそれぞれ接着剤層が形成されることを特徴とする捕虫具。
【請求項２】
前記曲面形成シートが呈する曲面形状を維持可能な維持手段を備えていることを特徴とする請求項１記載の捕虫具。
【請求項３】
前記曲面形成シート及びベースシートの外側へ前記接着剤層を構成する接着剤が流出することを規制可能な流出防止手段を備えていることを特徴とする請求項１又は２記載の捕虫具。
【請求項４】
前記曲面形成シートをベースシートから剥離して曲面形状に形成した状態で、接着剤層が形成された領域のベースシートを部分的に曲面形成シート側に変位可能な変位手段を備えていることを特徴とする請求項１、２又は３記載の捕虫具。
【請求項５】
前記ベースシートの接着剤層と反対面であって前記変位手段の形成領域へ接着剤層を構成する接着剤が漏洩することを規制可能な漏洩防止手段を備えていることを特徴とする請求項４記載の捕虫具。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、捕虫具に係り、更に詳しくは、接着剤層に虫を接着して捕獲することができる捕虫具に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来より、例えば、食品や粘着シート、精密機械等の製品に虫が混入することを防止するために捕虫具が利用され、かかる捕虫具としては、例えば、特許文献１及び２に開示されている。特許文献１の捕虫具では、一方の面に粘着面を形成したシートを当該粘着面が内側になるように半円筒状に折り曲げ、虫の侵入を許容する半円状の開放部を両端に形成可能となっている。特許文献２の捕虫具は、連結位置で折り曲げ可能な正面板及び背面板と、これら正面板及び背面板の間において当該正面板及び背面板と別体として設けられる粘着紙とを備えている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開平７－２３６３９８号公報
【特許文献２】特開２００６－１０１７５８号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、特許文献１にあっては、シートを折り曲げる使用前の状態で、平面積が大きくなり、搬送等において取り扱い難くなるばかりでなく、保管場所に広いスペースを要する、という不都合がある。また、使用直前まで粘着面に剥離紙が貼付されるので、使用にあたり剥離された剥離紙が邪魔になったり、剥離紙の処分に手間がかかり、しかも、捕虫用の粘着剤は転着し易く取り除くことが困難な性質を有するので、剥離紙に付着した

粘着剤が他のものに付着すると、これを取り除くのに面倒な労力を要する、という不都合も生じる。

更に、特許文献２にあっては、正面板及び背面板に対して粘着紙を保持したり引っ掛けたりすることが必要になり、セッティング作業に手間がかかる上、正面板及び背面板と粘着紙とで保管場所が別々になって取扱性が悪くなる、という不都合を招来する。

【０００５】

［発明の目的］

本発明の目的は、保管時や搬送時等における取扱性と、使用時や使用後の取扱性との両方を向上させることができる捕虫具を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

前記目的を達成するため、本発明は、ベースシートと、このベースシートの一方の面に設けられた接着剤層と、この接着剤層を介して前記ベースシートと接着可能に設けられるとともに、前記ベースシートと一端側同士が連設された状態で当該ベースシートから剥離したときに曲面形状に形成可能な曲面形成シートとを備えた捕虫具であって、

前記曲面形成シートをベースシートから剥離したときに、それらの相対面にそれぞれ接着剤層が形成される、という構成を採っている。

【０００７】

本発明において、前記曲面形成シートが呈する曲面形状を維持可能な維持手段を備える、という構成を採ることが好ましい。

【０００８】

また、前記曲面形成シート及びベースシートの外側へ前記接着剤層を構成する接着剤が流出することを規制可能な流出防止手段を備える、という構成も好ましくは採用される。

【０００９】

更に、前記曲面形成シートをベースシートから剥離して曲面形状に形成した状態で、接着剤層が形成された領域のベースシートを部分的に曲面形成シート側に変位可能な変位手段を備える、という構成を採用してもよい。

【００１０】

また、前記ベースシートの接着剤層と反対面であって前記変位手段の形成領域へ接着剤層を構成する接着剤が漏洩することを規制可能な漏洩防止手段を備える、という構成を採ることができる。

【発明の効果】

【００１１】

本発明によれば、捕虫を行う前にベースシートと曲面形成シートとを接着した状態で取り扱うことができ、使用にあたりシートを折り曲げて使用する従来タイプのものに比べ、平面積を小さくした状態として保管時や搬送時等における取扱性を向上させることが可能となる。しかも、ベースシートと曲面形成シートとの間に接着剤層が位置するので、剥離紙を不要として当該剥離紙の剥離作業や処分等の負担をなくすことができるので使用時（セッティンク時）の取扱性を向上させることも可能となるばかりでなく、使用後に破棄するときには、ベースシートと曲面形成シートとを使用前の状態に戻すだけでよいので、使用後の取扱性をも向上させることが可能となる。

【００１２】

また、維持手段により曲面形成シートが呈する曲面形状を安定して維持することが可能となる。

【００１３】

更に、接着剤の流出防止手段により、曲面形成シート及びベースシートの外側に接着剤がはみ出ることを防止でき、保管時や運搬時、更には、使用後に周囲のものを接着剤で汚染することを回避することが可能となる。

【００１４】

また、変位手段により接着剤層が形成された領域のベースシートを部分的に起き上がる

ように変位させることができ、曲面形成シート及びベースシートの接着剤層間に飛来した虫を接着剤層に効率良く接着して捕虫することが可能となる。

【００１５】

更に、漏洩防止手段により、使用時、使用後にベースシートにおける接着剤層の反対面側に接着剤や捕獲した虫が流出することを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

【図１】（Ａ）は実施形態に係る捕虫具の部分破断正面図、（Ｂ）は、図１（Ａ）の断面図。

【図２】（Ａ）は使用状態を示す捕虫具の正面図、（Ｂ）は、組立途中の断面図、（Ｃ）は、組立後の断面図。

【発明を実施するための形態】

【００１７】

以下、本発明の好ましい実施の形態について図面を参照しながら説明する。

なお、本明細書の方向若しくは位置を示す用語は、特に明示しない限り、図１（Ａ）を正面から見た場合を基準とし、「前」とは同図中手前側を示す一方、「後」とは、同奥行き側について用いられ、「左」「右」も同様に正面から見た場合を基準とする。

【００１８】

捕虫具１０は、図１（Ｂ）中右側に位置するベースシート１１と、同図中左側に位置してベースシート１１と重なり合う曲面形成シート１２と、ベースシート１１前面と曲面形成シート１２後面との間に設けられて、これらを接着可能な接着剤層１４及び流出防止手段１５と、ベースシート１１に形成された維持手段１６及び変位手段１７と、ベースシート１１における接着剤層１４の反対面すなわち後面側に設けられた漏洩防止手段１９とを備えて構成されている。ベースシート１１及び曲面形成シート１２は、紙や樹脂シート等が例示できる。

【００１９】

前記ベースシート１１は、図１（Ａ）に示されるように、上下に長い長方形状に形成されている。ベースシート１１の上端側には、壁掛け用の穴２２が形成されている。

【００２０】

前記曲面形成シート１２は、ベースシート１１と略同一の平面形状に形成されている。曲面形成シート１２は、図２（Ｂ）に示されるように、ベースシート１１から剥離可能に設けられ、当該剥離したときに前方に膨出する曲面形状に形成可能となっている。

【００２１】

前記接着剤層１４は、図１（Ｂ）の状態において、ベースシート１１及び曲面形成シート１２の面内中央領域に積層される。接着剤層１４は、流動性を有する接着剤からなり、曲面形成シート１２をベースシート１１から剥離したときに、厚み方向中間部で分断するように構成されている。従って、接着剤層１４は、図２（Ｂ）の状態において、曲面形成シート１２及びベースシート１１の各相対面にそれぞれ形成され、曲面形成シート１２の後面及びベースシート１１の前面の両方において虫を捕獲できるようになっている。

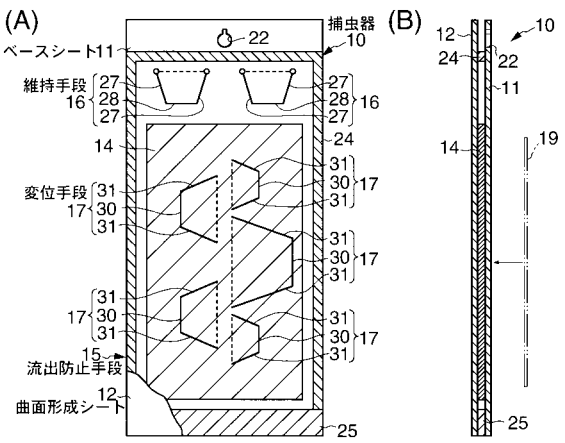
【００２２】

前記流出防止手段１５は、接着剤層１４の上下左右を囲う領域に設けられている。流出防止手段１５は、ベースシート１１及び曲面形成シート１２の一端側すなわち下端側に沿う領域に設けられた強粘着剤層２５と、穴２２と接着剤層１４との間で左右方向に延びた領域及び接着剤層１４の左右両側で上下方向に延びた領域に設けられた弱粘着剤層２４とを備え、図１の状態で接着剤層１４を構成する接着剤が外側に流動しても、各シート１１、１２の外側に流出することを規制可能に設けられている。強粘着剤層２５は、意図的な強力な外力を付与しない限り、ベースシート１１及び曲面形成シート１２の連結した状態が保たれる接着力を有し、弱粘着剤層２４は、強粘着剤層２５に比べて相対的に弱い接着力で曲面形成シート１２に接着している。なお、弱粘着剤層２４は、再接着可能に設けられている。

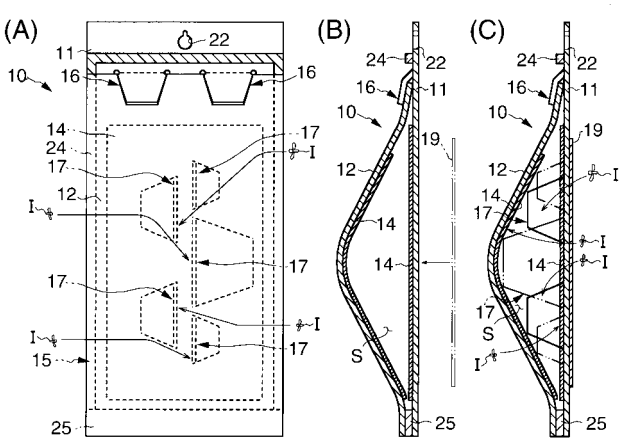
【００２３】
前記維持手段１６は、弱粘着剤層２５の内側における接着剤層１４上方の２箇所位置に設けられ、一対の傾斜切り込み２７と、これら傾斜切り込み２７の一端側を連結する連結切り込み２８とにより形成され、各傾斜切り込み２７の他端側の図１（Ａ）中点線で示される部位を折り曲げ位置として下端側が前方に変位可能となっている。これにより、図２に示されるように、維持手段１６の後面側に曲面形成シート１２の上端側を差し込んで保持可能となり、曲面形成シート１２が呈する曲面形状を維持可能となっている。
【００２４】
前記変位手段１７は、一対の傾斜切り込み３１と、これら傾斜切り込み３１の一端側を連結する連結切り込み３０とにより形成され、各傾斜切り込み３１の他端側の図１（Ａ）中点線で示される部位を折り曲げ位置として前方に向かって起立可能となっている。これにより、図２（Ｃ）に示されるように、接着剤層１４が形成された領域のベースシート１１を部分的に曲面形成シート１２側に変位可能となる。なお、各変位手段１７は、前方に向かって起立させたときの前後幅が、曲面形状となる曲面形成シート１２の膨らみの大きさに応じて異なるようになっている。つまり、曲面形成シート１２の膨らみが最も大きくなる位置に対応する変位手段１７は、前後幅が最も大きく、膨らみが小さくなる位置に応じて変位手段１７の前後幅も小さくなるように設定されている。
【００２５】
前記漏洩防止手段１９は、ベースシート１１の後面に貼付可能なシートからなり、変位手段１７が面内に収まるサイズに形成され、各変位手段１７が起立されることで形成される開口をカバーして接着剤層１４の接着剤がベースシート１１の後面側に漏洩することを規制可能となっている。なお、漏洩防止手段１９は、紙や樹脂シート等を基材とする接着シートが例示でき、予めベースシート１１の後面に貼付されていてもよいし、変位手段１７を起立させてから貼付するようにしてもよい。
【００２６】
次に、捕虫具１０の使用方法について説明する。
【００２７】
先ず、各維持手段１６の後面側を前方に押し出し、下端側を前方に変位させておく。次に、曲面形成シート１２を上端側からベースシート１１から剥離し、各シート１１、１２が強粘着剤層２５だけで連結される状態とする。これにより、接着剤層１４が厚さ方向中間で分断され、曲面形成シート１２の後面及びベースシート１１の前面にそれぞれ接着剤層１４が積層された状態となる。次いで、曲面形成シート１２を前方に膨らむ曲面形状に変形させつつ、下端側を前方に変位させておいた各維持手段１６の後面側に曲面形成シート１２の上端側を差し込む。これにより、各維持手段１６によって曲面形成シート１２の上端側が保持され、ベースシート１１と曲面形成シート１２との間に虫の侵入を許容するスペースＳが形成される（図２（Ｂ）参照）。
【００２８】
次に、各変位手段１７の後面側を前方に押し出し、前方に向かって起立させる。この立ち上げによって、各変位手段１７の内側領域がスペースＳ内を埋める障害物ができ、スペースＳ内に飛来した虫が当該スペースＳ内を通過し難くなり、接着剤層１４に虫を効率良く接触させて捕獲し易くなっている。なお、各変位手段１７は、図２（Ｃ）に示されるように、各変位手段１７が側面視で一部が重なり合うような配置とすることが好ましい。これにより、図２（Ａ）に示されるように、スペースＳ内に飛来した虫Ｉの直進を阻害することができ、接着剤層１４に虫を接触させ易くすることができる。各変位手段１７を起立させた後、ベースシート１１の後面に漏洩防止手段１９を貼付し、穴２２を介して捕虫具１０を吊り下げる。そして、所定期間が経過したら、曲面形成シート１２を各維持手段１６から引き抜き、初めの状態つまり図１の状態に戻す。このとき変位手段１７は、曲面形成シート１２に押されて初めの状態に戻り、当該捕虫具１０を破棄するときも、流出防止手段１５と漏洩防止手段１９とによって、接着剤層１４の接着剤や、捕獲した虫が当該捕虫具１０から流出することを防止することができる。

【００２９】
従って、このような実施形態によれば、捕虫を行う前にベースシート１１と曲面形成シート１２とを接着した状態で取り扱うことができ、保管時や搬送時等における取扱性を向上させることが可能となる。しかも、ベースシート１１と曲面形成シート１２との間に接着剤層１４が位置するので、ベースシート１１から曲面形成シート１２を剥離し、当該曲面形成シート１２を維持手段１６に差し込むだけでセッティングができるので、使用時の取扱性を向上させることも可能となるばかりでなく、使用後に破棄するときには、ベースシート１１と曲面形成シート１２とを使用前の状態に戻すだけでよいので、使用後の取扱性をも向上させることが可能となる。
【００３０】
以上のように、本発明を実施するための最良の構成、方法等は、前記記載で開示されているが、本発明は、これに限定されるものではない。
すなわち、本発明は、主に特定の実施形態に関して特に図示、説明されているが、本発明の技術的思想及び目的の範囲から逸脱することなく、以上説明した実施形態に対し、形状、位置若しくは配置等に関し、必要に応じて当業者が様々な変更を加えることができるものである。
従って、上記に開示した形状などを限定した記載は、本発明の理解を容易にするために例示的に記載したものであり、本発明を限定するものではないから、それらの形状などの限定の一部若しくは全部の限定を外した部材の名称での記載は、本発明に含まれるものである。
【００３１】
例えば、１枚のシートを折り曲げてベースシート１１及び曲面形成シート１２を連なって設け、強粘着剤層２５を省略した構成としてもよい。この場合、流出防止手段１５は、シートの折り曲げ縁と弱粘着剤層２４とにより構成される。
【００３２】
また、前記変位手段１７の形状は、種々の変更が可能であり、例えば、立ち上げた際の前端側形状を、曲面形状を呈する曲面形成シート１２に沿って曲線状に形成してもよい。
【符号の説明】
【００３３】
１０　捕虫具
１１　ベースシート
１２　曲面形成シート
１４　接着剤層
１５　流出防止手段
１６　維持手段
１７　変位手段
１９　漏洩防止手段

【図１】


(A)
(B)
捕虫器
ベースシート11
維持手段
変位手段
流出防止手段
曲面形成シート
22
10
11
12
14
15
16
17
19
24
25
27
28
30
31

【図２】


(A)
(B)
(C)
22
10
11
12
14
15
16
17
19
24
25
I
S